

2025年度 第10回社会学研究科委員会 議事要旨

I 議事要旨の確認

- 1 2025年度第9回社会学研究科委員会議事要旨の確認
議事要旨を確認した。

II 審議事項

- 1 学位論文の審査員の選出について
(1) 論文博士
○審査員の選出にあたり投票が行われた結果
投票総数 47票、可 47票、否 0票、白 0票
となり、3名の審査員が承認された。
- 2 学位論文の審査について（論文博士）
○主査より審査報告の後、学位規則第14条の規定に基づき、可否投票を行った。
○可否投票の結果
投票総数 47票、可 46票、否 0票、白 1票
となり、対象者に博士（社会学）の学位を授与することが承認された。
- 3 一橋大学社会学研究科規則及び細則の一部改正について
○研究科長から、資料に基づき説明があり、審議の結果原案通り承認された。
- 4 5年一貫プログラムの運用に関する申し合わせの改正について
○研究科長から資料に基づき説明があり、審議の結果原案通り承認された。
なお議場より、学部の卒業論文を「修士論文中間レポート」とすることについて、次のような意見があった。
 - ・実質化が求められている現在、修士論文中間レポートが学部の最終成果となることには違和感がある。
 - ・募集要項にも記載されている文言であり、現時点では揃える必要もある。
 - ・あくまでゴールは修士論文であるため、中間レポートという文言を使っているが、あくまで修士論文のクオリティは担保する。
 - ・卒業論文提出にあたっては、表紙に「卒業論文（5年一貫プログラム）」と記載すればよいのではないか。中間レポートという言葉で誤ったイメージを持たれないようにする必要がある。⇒以上の意見を踏まえ、次年度の募集要項策定時に中間レポートの文言を再検討することとなった。

Ⅲ 意見聴取（サウンディング）

- 1 その他
なし

aa

Ⅳ 報告事項

- 1 学位論文計画書の審査状況について
○研究科長から、資料に基づき報告があった。
- 2 2026年春季入試の日程について
○研究科長から、資料に基づき報告があった。
- 3 TFトレーニングコースについて
○担当教員から口頭で報告があった。
- 3 その他
なし